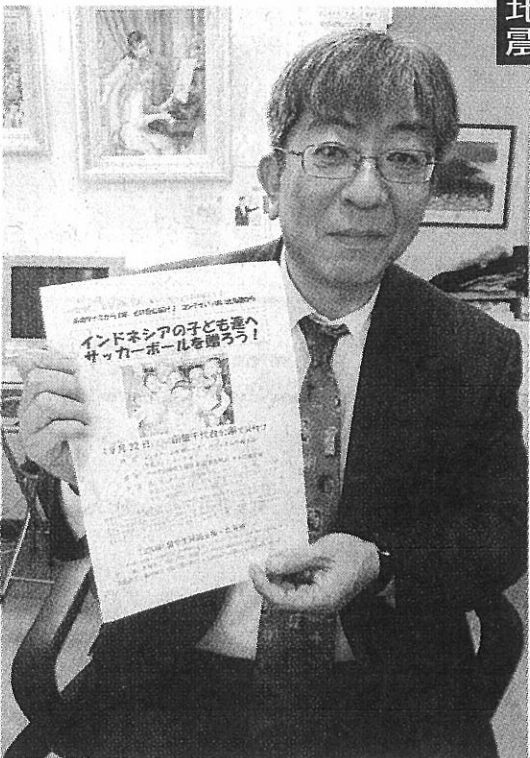


被災国の子どもへ サッカーボールを

サッカーボールの寄贈を呼びかけるチラシを手にする高島さん



札幌の市民団体

あす千代台公園で受け付け

シアの子どもたちに贈るサッカーボールの寄贈を受け付ける。

同団体の活動に協力し、

函館市内で不動産業などを手がける高島繁さん(五〇)は

「スタップから現地の悲惨な様子を聞いた。力になれば」と準備を進め、当日

札幌から来函する同団体スタップの瀬川映太さんは

「津波があった一年後の十二月二十六日に、子どもたちに北海道からたくさん

のプレゼントと愛を届けた

る。函館のみなさんも協力してくださ」と呼びかけている。

同団体では、ボールの輸送費の募金も募っている。

九時から午後一時半まで、同競技場正面玄関前の中央公園広場で、市民らからサッカーボールを受け付ける。

詳しくは同団体のブログ(日記風ホームページ、<http://genkikhd.exblog.jp/>)<。

集めるボールは新品、中古を問わず、ボールにサインや励ましのメッセージなどを書き込んでもらうという。

（押野友美）

スマトラ沖地震の被災国を支援する札幌の市民団体「TSUNAMI留学生協国支援・北海道」は二十二日、サッカーJ2のコンサドーレ札幌とモンテディオ山形の試合が行われる函館市千代台町の千代台公園陸上競技場の前で、インドネ

シアの子

同団体の活動に協力し、函館市内で不動産業などを手がける高島繁さん(五〇)は「スタップから現地の悲惨な様子を聞いた。力になれば」と準備を進め、当日札幌から来函する同団体スタップの瀬川映太さんは「津波があった一年後の十二月二十六日に、子どもたちに北海道からたくさん